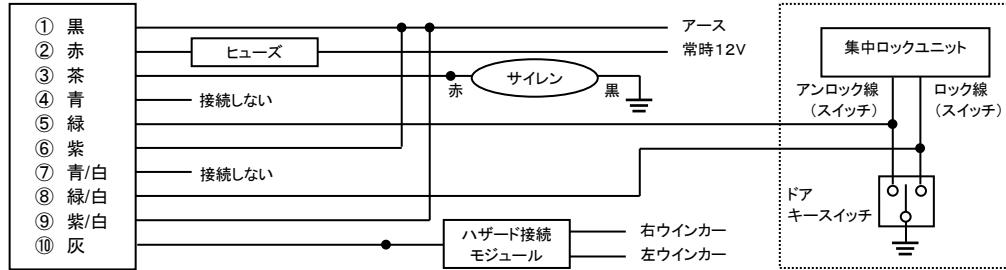


ドアロック基本結線図

(必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線して下さい。)

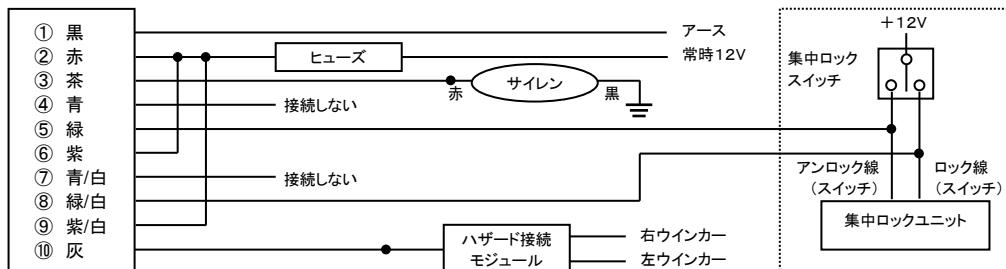
Aタイプ (ほとんどのトヨタ車や当社の集中ロックキットと組み合わせる場合)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種
(当社の集中ロックキットと組み合わせて取り付けをする場合は集中ロックキットの取説を参考に配線を行って下さい。)



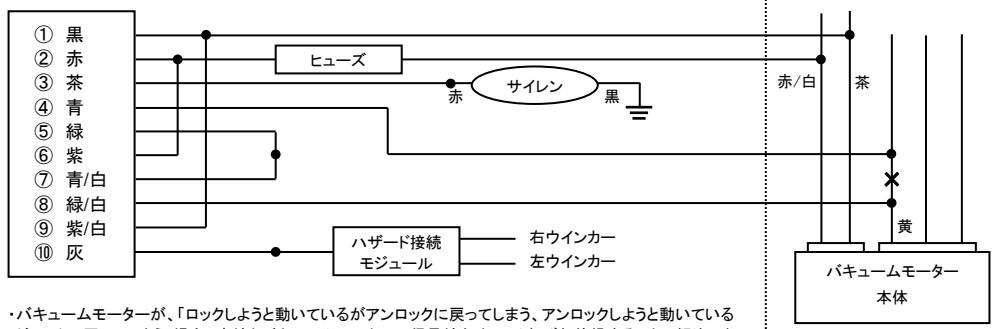
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39等、GOLF3 やアメ車の一部)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



ベンツタイプ (例:W124・W126・W201・R129・R107 後期等)

ドアロックをバキュームモーターで行う車種



・バキュームモーターが、「ロックしようと動いているがアンロックに戻ってしまう、アンロックしようと動いているがロックに戻ってしまう」場合、青線とバキュームモーターの信号線を外し、それぞれ絶縁することで解決します。(ただし、トランクから鍵穴でロック・アンロックしても集中ロックは利きませんが、その他のドアは通常通り集中ロックになります。また、リモコンですべてのドアがロック・アンロックできますので、実運用上は問題ありません。)

車種別配線情報は、次のページを参考にして下さい。

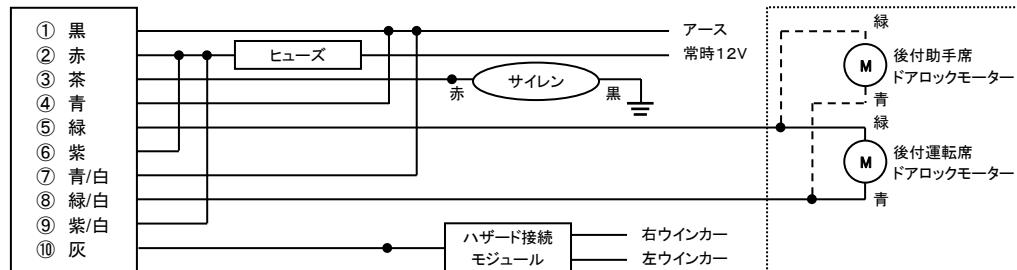
<https://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html>



Bタイプ (ドアロックモーターを後付けする車)

ドアロックモーターが付いていない車種

【注意】当社の集中ロックキットと一緒に取り付ける場合は、集中ロックキットの取説を参考に配線を行って下さい。ロックマンの配線タイプはBタイプではなく、Aタイプになります。Bタイプで配線すると、受信機や集中ロックキットのコントローラが故障する場合があります。

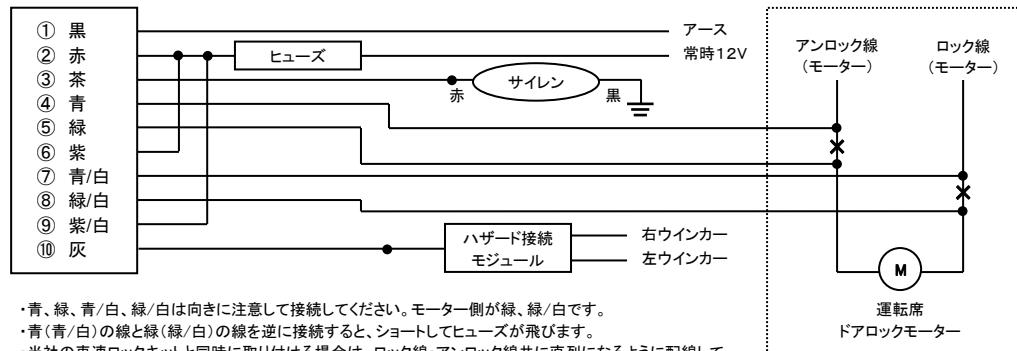


・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。

・ドアロックモーターを2個以上使用する場合は、図のように並列に接続して下さい。

Cタイプ

全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。

・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。

・当社の車速ロックキットと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線して下さい。

【車速ロックキットを併設する場合のアンロック線の配線例】

① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。

② 本体の青線を車速ロックキットの緑線へ接続。

③ 車速ロックキットの青線を車両側のアンロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続して下さい。

(オーディオ裏は、容量が小さいので正常に動作しなかったり車両のヒューズが切れる可能性があります。)

【サイレン・ハザード出力について】

茶線や灰線を接続しない場合は、どこにも接続せずに必ず絶縁して下さい。

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず受信機からコネクタを抜いて行って下さい。
- ・必ず順序1番から5番まで、すべて確認して下さい。
- ・手順以外の差込は破損の原因になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



危険

Aタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカーポジション	ウインカーラインまたは赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

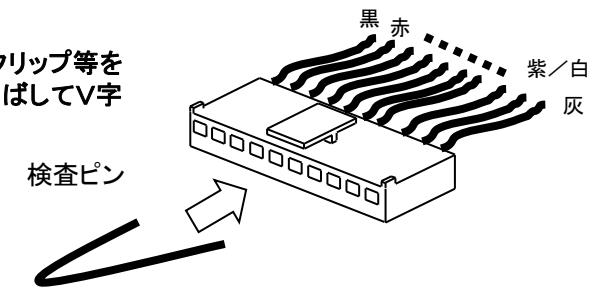
Dタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカーポジション	ウインカーラインまたは赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

ベンツタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	赤線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑／白と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカーポジション	ウインカーラインまたは赤線の結線不良 左が点かない⇒黒／白の結線不良 右が点かない⇒黒／紫の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	青／白と紫線の結線不良 本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作して下さい。



B・Cタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑／白と紫／白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	青または紫／白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、 緑と紫の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカーポジション	ウインカーラインまたは赤線の結線不良
6	本体を接続し、リモコンで動作させる。	ロック・アンロック	本体またはリモコンの初期不良等（注1参照）

・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないで下さい。

・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。

（注1）配線検査で1から5番まで問題がないのに本体が反応しない場合は、取扱説明書に記載しているリモコンのセットアップを行って下さい。
それでも改善しない場合は、リモコンのLEDが光っている場合でも電池が弱くなっている可能性があります。電池を交換して下さい。

※ 本体は、両面テープなどで固定してください。キックバネ内など、見えない場所でもかまいません。

※ 本体はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。

※ 水がハーネスをつたって受信機に入らないようにハーネスを下向きになるように設置してください。

【感度について】

本体から出ている黒い線がアンテナです。感度が悪い場合、この線をまっすぐに伸ばしてください。また、本体を水平設置や垂直設置に変えると感度が良くなる場合があります。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにしてください。